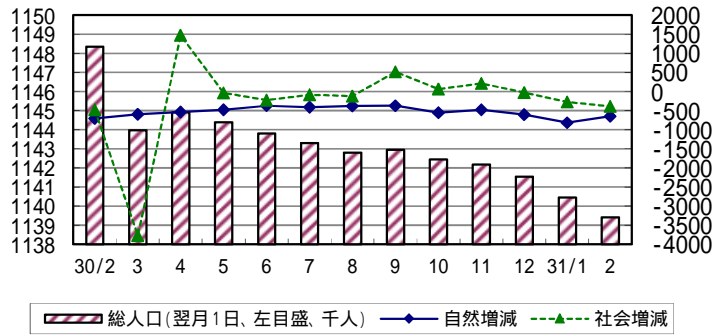


グラフでみる主な指標の動き

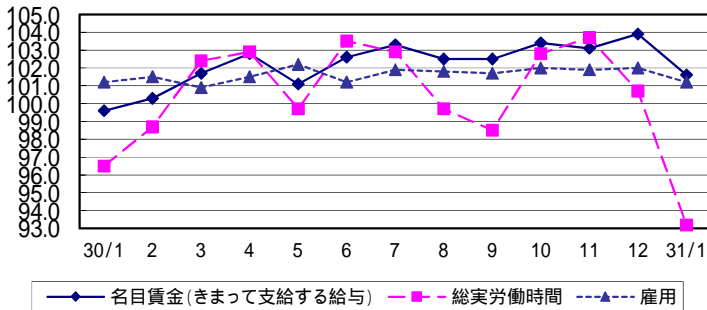
人口

平成31年3月1日現在の大分県の推計人口は1,139,417人で、前月に比べ1,033人減少した。このうち、自然増減は647人の減少、社会増減は386人の減少であった。このように、31年2月は自然増減が161か月連続の減少、社会増減が3か月連続の減少となった。(平成27年10月1日以降の人口は平成27年国勢調査確定値に基づく。)

総人口と人口動態の推移



賃金・労働時間・雇用の指数の推移
(調査産業計・規模5人以上・H27 = 100)



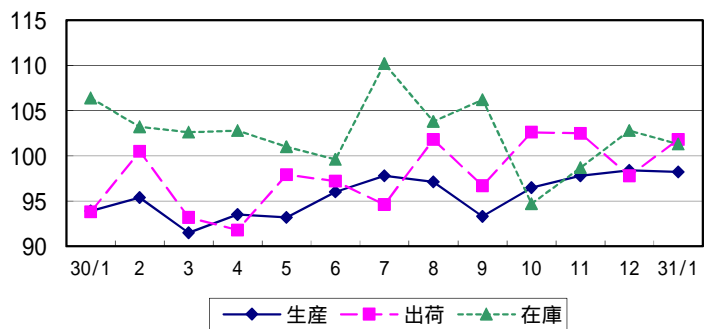
労働

毎月勤労統計調査(規模5人以上)によると、大分県の平成31年1月の常用労働者のきまって支給する給与は228,020円で、前月比2.3%減少し、前年同月比は1.9%増加した。総実労働時間は137.3時間で、前月比7.5%減少し、前年同月比は3.5%減少した。また、常用雇用指数は101.2で、前月比0.8%下落し、前年同月比は上昇下落ともなかった。

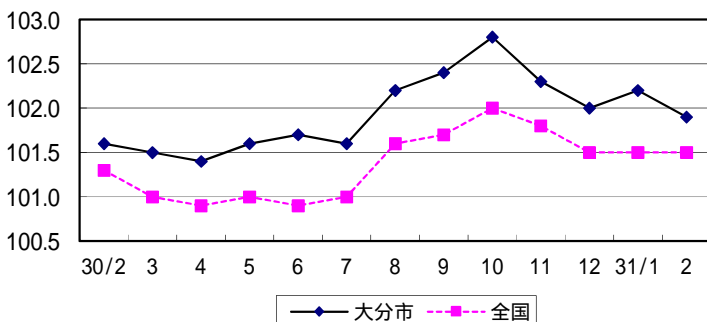
鉱工業

平成31年1月の大分県の鉱工業指数(平成27年 = 100)は生産指数が98.2で、前月比0.2%の下落となり、4か月ぶりに低下した。前年同月比(原指数)は4.6%上昇。出荷指数は101.8で、前月比4.1%と3か月ぶりに上昇した。前年同月比(同)は8.3%上昇し、7か月連続の上昇となった。また、在庫指数は101.3で、前月比1.5%下落し、3か月ぶりに低下した。前年同月比(同)は4.8%の下落となった。

鉱工業指数(季節調整済指数・H27 = 100)



消費者物価指数(総合・H27=100)



物価

平成31年2月の大分市の消費者物価指数(平成27年 = 100)は101.9となり、前月に比べ0.3%の下落となった。これは、「食料」が果物の値下がりなどに伴って1.0%下落したことなどによる。